

平成 29 年度 学校評価の分析

半田市立半田中学校

☆文末の評価 (例) A B A は教師 A、保護者 B、生徒 A *調査なし

◎ 評価が全て「A」の項目

- 4 生徒に目標をもたせ、部活動運営を行い、健康の増進や技術の向上をはかっている。A A A
- 5 生徒に行事に対する目標を意識させ、目標が達成できるよう指導し、その成果を上げられている。A A A
- 1 2 正しい身なりの指導を展開し、その成果を上げられている。A A A
- 1 6 学級の係や清掃・給食当番等、責任を果たすよう指導し、成果を上げれている。A * A

部活動については、目標をもって活動し、健康増進や技術の向上に努力していることがわかります。部活動の休養日については、意見用紙にも多くのご意見をいただいているところで、今後の活動内容とともに検討してまいります。双鳩祭や合唱コンクールなど、学校行事においても目標をもって取り組み、生徒の成長につながっていると考えます。また、係活動や給食・清掃活動にも生徒が各自の責任をしっかりと果たせるようになってきたと感じます。ご家庭でも家事の一躍を担えるようお願いします。

◎ 評価が「A」と「B」との混じっている項目

- 3 生徒一人一人を大切にし、相談・指導を行っている。A B B
- 7 生徒に、わかりやすい授業になっている。B B A
- 9 学校生活の中で時間を意識する指導を行い、その成果を上げられている。A B A
- 1 1 「ものを大切にする」「公共美化」の指導を行い、その成果を上げられている。B B A
- 1 3 交通マナーについて、機会あるごとに自ら安全を判断できるよう指導し、その成果を上げられている。B A A
- 1 4 どの生徒にも活躍の場を与え、居場所のある学級経営を行っている。A * B
- 1 5 いじめをしない、いじめをさせないムードを学級・部活動で醸成できている。A B B
- 1 7 学校が楽しい。* A B

教師の学習指導や生徒・保護者への対応など学校教育の根幹をなす項目になります。わかりやすく面白い授業を目指して取り組んではいるものの、生徒の捉えとしては、いま一歩という結果になっている。結果を真摯に受け止め、教師間の共通理解を深めて、全職員で協力しながら信頼を高められるよう努力していきます。

交通マナーについては、教師、保護者と生徒の満足度に、開きがあります。相手の立場になってのあいさつ、譲り合いの精神の上に成り立つ交通マナーについて教師側が目指す姿へ生徒を導いていきます。本年度は交通事故が数件起きています。幸いにも命に関わるような事故はありませんでしたが、ひとつ間違えれば大きな事故になっていた可能性もあります。今後も命の大切さを根気強く指導していきます。

◎ 評価が「A」と「C」との混じっている項目

- 1 家庭・地域との連携をとるため、HP、通信、学校公開、家庭連絡等により情報発信を行っている。AAC

本項目の結果は、家庭、地域の連携を示す重要な項目と考えています。昨年度も同様にAACでしたが、パーセンテージは教師、保護者、生徒ともに上がっています。特に、デイリー半中については、保護者の方からの意見用紙の中にも、「楽しみにしている」「学校の様子がとてもよくわかる」という内容が多くありました。今後も、積極的に学校が情報を発信して、開かれた学校を目指します。

また、紙媒体の各種通信（学校だより・進路だより・保健だより・学年だより等）については、引き続き、保護者の皆様に配布日にきちんと届くよう注意していきます。

◎ 評価が「B」だけの項目

- 8 わかりやすく・面白い授業を展開するために、研究授業の実践・参加・日々の教材研究、指導法の工夫改善に努めている。B**

授業の工夫改善については、教師の本分であると考えます。今後も教材研究や指導法改善の研修に励み、全職員で授業力向上に努力していきます。

◎ 評価が「A」「B」「C」混じっている項目

- 2 家庭や地域と連携し、学校教育を行っている。地域のボランティア活動にも積極的に参加できる生徒が育っている。ABC

教師や保護者と生徒の満足度にそれぞれ開きがあります。教師側からみると地域や家庭との連携が十分行われていると感じていますが、生徒にとっては、ボランティア活動については限られた生徒の参加になっていると感じています。部活動とのバランスを今後、考えてやる気のある生徒が参加しやすいよう配慮していきたい。

半田中避難所運営訓練の実施や学校関係者交流会の定着など、地域の方との交流も盛んになってきました。今後は、生活の中に自然な形で地域のとの連携ができるようにしていきます。

◎ 評価が「B」「C」混じっている項目

- 6 生徒が個人・集団の目標を意識して生活するよう、指導し、その成果を上げられている。B*C

級訓を意識して、学校生活を送ることは、日々の生活において教師がいかに級訓の意義や込められた思いを伝えていくかが重要であると考えます。級訓以外にも、生徒は学習や運動において具体的に個人の目標を定めて活動をしています。質問内容について、今後の課題にしたいと思います。

教育活動アンケートについて、本年度は1回の実施としました。昨年度の結果と比較しつつ、よりよい教育活動となるよう全職員で努力してまいります。今後とも半田中学校の取り組みにご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。